



神のチェンジ


2016 / 11 / 20

シリーズ～チェンジ～

フィリピの信徒への手紙2:3~11

何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。互いにこのことを心がけなさい。

それはキリスト・イエスにもみられるものです。



キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。

神であることを捨てる

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず」

- キリストは「神の身分」「神と等しい者」であられた
 - 創造主・全知全能・偏在普遍（永遠）
- 「固執しようとは思わず」
 - 手放せないものではない、と考えた
 - 神としての属性をためらうことなく捨て去られた！

「無」になる

「かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になりました。」

- 神が人間になることはすべてを失い「無」になることに等しい
 - 創造主 > 被造物, 全知全能 > 限られた知能, 偏在 > 物理的拘束, 普遍 > 死, 永遠 > 時間の拘束
- しかも「僕」(奴隷)の身分となられた
 - 奴隷のように自分の利益や権利を捨てた
 - 主人(罪人)に仕えることのためだけに生きる

十字架の死にまで従順である

「へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。」

- 神の前にへりくだり、その御心だけに従う
 - 人になられてからはご自分の意志を捨てた
 - 「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」ルカ22:42
- 十字架の死にまで従われた
 - 人類の罪を贖う唯一絶対の手段
 - それがどんなに辛く過酷であったとしても

私たちのチェンジ(見本に習って)

- 「何事も利己心や虚栄心からするのではなく」
 - キリストは神であることすら捨てられた
 - 自分の利益や栄誉に固執すべきではない
- 「へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え」
 - キリストは私たちを生かすために無になられた
 - 誰かのために自分を犠牲にすべきである
- 「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」
 - キリストは罪人を救いたいと願われた
 - 隣人の必要にもっと目を向けるべきである

キリストに与えられた栄誉

このため、神はキリストを高く上げ、あらゆる名にまさる名をお与えになりました。こうして、天上のもの、地上のもの、地下のものがすべて、イエスの御名にひざまずき、すべての舌が、「イエス・キリストは主である」と公に宣べて、父である神をたたえるのです。